

令和3年度学校関係者評価シート(年度末評価)

校番	107	学校名	西条特別支援学校	校長氏名	吉迫 基全	全・定・通	本校
----	-----	-----	----------	------	-------	-------	----

評価項目	評価	理由・意見
目標、指標、計画等の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組を踏まえ、組織としての校務運営に適した内容になっている。 ・本項目については、令和3年度の第一回会議で学校経営計画が承認されているため、「A」と評価することが適切であると判断した。 ・挨拶の定着は良い目標であるが、その目的をもう少し明確化しても良いのではないかな。
計画の進捗状況の評価の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であるが、概ね計画の進捗についても順調であり、数値評価を大切にしている。 ・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響もあり、当初の計画が進まなかった点もあるかと思うが、一方で、前年度のコロナ禍から得た教訓や学校としての学びを生かし、安全安心に教育活動を進めるために最大限の工夫をされた様子がうかがえた。そのため、「A」と評価することが適切であると判断した。 ・とても良い。
目標達成に向けた取組の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全を基盤とし、児童生徒の主体性を引き出す取組を重視している。 ・教職員が一丸となって、学校教育目標や働き方改革に取り組んでいる様子がうかがえる。達成度としては不十分な点があるかもしれないが、「取り組み」の適切さという点で、「A」と評価することが適切であると判断した。 ・表出の難しい児童生徒にICT活用するなど工夫している。 ・児童生徒の表現を引き出し、発表の機会を作っていることは大変良い。
評価結果の分析の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標としては納得できる部分も多々あるが、新たな評価指標（評価の観点）を検討することにも是非、チャレンジして頂きたい。次年度に向けて、継続して議論して頂くことを期待して、本項目は「B」と評価した。 ・数値評価に基づき適切と判断する。 ・課題にもう少し、保護者からのニーズが入っても良いのではないかな。
今後の改善方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な改善方策については納得できる内容である。特に、ICT活用に対する貴校の姿勢は先駆的なものとする。医療的ケア児支援法の施行など、貴校の教育に大きく関わる社会の変化を受け止めながら、柔軟な改善方策の立案に努めて頂きたい。以上より、本項目は「A」と判断することが適切であると考えた。 ・コロナ禍ではあるが、評価分析を綿密に行い、方策を立てており、適切な設定である。 ・類型の理解が進むことは良いが、合わなくなったときに変更できると良いのではないかな。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先の見えない不安な状況が続く中であっても、常に新しいことにチャレンジし、同時に安全安心な学校・学級運営に努めていると感じた。上記の各項目を総合的に評価すると総合評価は「A」とすることが適切であると判断した。 ・コロナ禍で、学校の取組も大変な中、生徒の学びを止めない工夫により、主体的な学びの構築に組織的に取り組んでいる。